

スポーツの聖地づくり総合推進プロジェクトチーム関連事業費

資料 2

- 施設の大規模修繕の前倒し執行等により、スポーツ関連事業費は全体的に減少
- サイクルスポーツ習慣化事業や競技団体に対するICT機器助成事業を新たに実施
- 令和3年度は、オリパラの開催状況等を踏まえ、令和4年度から始まるスポーツ推進計画（第3期）の策定作業を進める

単位：千円

TF		課題となる項目	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	差引 R3-R2	増減理由
TF1 参画人口拡大	【タスク1】 スポーツ参画人口の拡大  【タスク2】 スポーツを通じた多様性のある社会の実現	1 乳幼児期における運動習慣の確立	246,604	214,847	194,972	△ 19,875	・東京2020パラ助成の減(△10,000) ・障害者スポーツ関連事業費の減(△5,516) ・サイクルスポーツ習慣化事業の増(10,000) ・運動部活動指導体制充実の減(△5,115)
		2 児童期(小学校期)における運動習慣の確立と体力の向上					
		3 青少年期の運動習慣の確立と体力の向上【中学・高校等】					
		4 成人期に地域社会や職場でスポーツに親しむためのきっかけづくり					
		5 高齢期の健康長寿のためのスポーツ推進					
		6 障害のある人のスポーツ参画					
		7 女性のスポーツ参画					
TF2 人材と場	【タスク3】 スポーツ環境の基礎となる「人材」と「場」の充実	1 スポーツに携わる多様な人材の育成と活躍の場の確保	2,785,549	3,415,335	2,502,536	△ 912,799	・エコパアリーナ特定天井前倒し執行(△600,000) ・陸上公認更新完了(△400,900)ほか
		2 地域スポーツの担い手となる地域スポーツクラブの充実					
		3 多くの人がスポーツに親しむことのできる場の提供・確保					
TF3 地域活性化	【タスク4】 スポーツを通じた地域の活性化	1 世界的スポーツイベントの本県開催を契機とした地域活性化	669,150	2,217,849	2,260,363	42,514	・オリパラコロナ対策経費の増(605,000) ・MTB場整備(△300,000) ・オリパラ簡素化(△97,000)
		2 スポーツを通じた多様な交流の推進					
		3 成長分野として期待されるスポーツ産業の振興					
TF4 競技力向上	【タスク5】 競技力の向上  【タスク6】 クリーンでフェアなスポーツの推進	1 個々に合わせた可能性を発掘し、磨きあげるジュニア世代の育成	450,852	426,540	365,216	△ 61,324	・国体強化補助金の減(△30,000) ・東京2020オリ助成の減(△27,000) ・ICT機器助成の増(15,000) ・上級指導者確保・養成事業の減(△1,000)
		2 活躍する姿が多くの人に夢や感動を与えるトップアスリートの育成					
		3 選手の能力を引き出す指導者の資質向上					
		4 コンプライアンスやスポーツ団体のガバナンス強化					
		5 ドーピング防止活動の推進					
合計			4,152,155	6,274,571	5,323,087	△ 951,484	

## サイクルスポーツのレガシー創出に向けた取組

(スポーツ局)

## 1 要旨

東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技の開催効果を継続させるため、レガシー推進委員会※で検討された方針に基づき、日本サイクルスポーツセンター（以下、CSC）の拠点化や自転車競技大会等の開催を目指すなどサイクルスポーツのレガシー創出に取り組む。

## 2 目指す取組等（レガシー推進委員会の検討結果[抜粋]）

目 標	今後の取組
○自転車競技強化・育成拠点としての地位確立 ・競技種目の国内強化機能の集約 ・アスリート発掘育成プログラム構築 ・地域密着型プロチームとの協働 ○スポーツハブとしてのCSC活用 ・東部・伊豆地域で多分野での事業展開	自転車文化の醸成と、国内外へ発信する体制等の整備に向けた準備 ・体制等の整備に向けた議論及び準備 ・必要な施設、設備等の整備の検討
○国際・主要国内大会の開催 目標2024年 ・トラック・MTBのW杯開催 目標2023年 ・国際ロードレース大会の創設	W杯の誘致・開催、大会創設に向けた準備 ・MTB国際大会創設や国内大会の開催 ・既存大会でのレガシーコースの活用 ・大会開催に向けた地域における推進体制整備

自転車人口の底辺拡大・アスリートの強化・育成、自転車文化を醸成する場へ

※競技会場等のレガシーについて、関係者によりレガシー検討委員会を立ち上げ、大会後の利活用や必要な機能について平成30年度末に方針を取り纏めた。令和元年9月からレガシー推進委員会に改組。

## 3 令和3年度の主な取組

単位：千円

区分	内 容	R2当初	R3当初	
東京2020オリンピック・パラリンピックレガシー推進事業費	CSC拠点化	—	5,000	
	自転車競技大会 (ロードレース)	○国際公認レース実現可能性調査 ・コース設定調査（県内5箇所） ・経済波及効果の算定	—	8,500
		○公道利用トレーニング方法調査 ・海外を参考にトレーニング方法調査	—	1,000
		○自転車イベントの開催支援 ・ツアーオブジャパン、チャレンジライド ほか	15,000	11,000
	(MTB)	○オリンピックコースの一般利用化	300,000	— R2から繰越
		○ジャパンMTBカップの開催（R3.3開催予定）	19,800	9,000
	魅力向上	○太平洋岸自転車道の魅力向上	1,500	1,500
大会継承	○経済効果算定、ボランティア継承、オリパラ大会記録の作成	54,700	40,700	
計		391,000	76,700	
サイクルスポーツ 県づくり事業費	・第2期自転車活用推進計画の策定 ・地域実践団体（県内4地域）への助成 ほか	18,500	23,500	
パラサイクリング 推進事業費	・ふじのくにパラサイクリング（タンデム）大会の開催 ・パラサイクリング活動団体の運営支援 ほか	12,300	8,030	
合計		421,800	108,230	

## ラグビーワールドカップのレガシー創出に向けた取組

(スポーツ局 スポーツ政策課)

## 1 要 旨

ラグビーワールドカップ 2019 開催の成果をレガシーとして後世へ継承し、地域に根差したラグビー文化を醸成することにより、ラグビーの聖地化を図る。

## 2 令和3年度の取組（ラグビー聖地化推進事業費）

単位：千円

区 分		内 容	R 3 当初
エコパ拠点化	全国大会 ・ 合宿誘致	・女子7人制ラグビー全国大会の開催 ・ユース世代等の合宿、練習試合の誘致 ・メディアファムによる全国発信	5,800
	公園機能 向 上	日本ラグビーフットボール協会の強化拠点施設の誘致に向けた調査検討	3,000
ラグビー文化の醸成	する	カテゴリー別トレセンの実施 ほか (競技力向上対策事業費で実施)	—
	たのしむ	・エコパラグビーハイスクールの実施 ・U-19 7人制ラグビー大会の開催 ほか	11,600
	ささえる	・指導者講習会の開催 ・県ラグビーフットボール協会体制強化支援	4,400
	みる	・ラグビー日本代表戦の開催支援 ・太陽生命ウィメンズセブンズシリーズの開催支援 ほか	88,400
	まなぶ	・レガシー教育の推進 ・モンゴル等との青少年ラグビー交流	11,600
計			124,800

## 3 ラグビー日本代表戦の開催

ラグビーワールドカップ2019開催後、最初のラグビー日本代表戦をエコパスタジアムで開催予定

日 程	令和3年6月12日（土）キックオフ時間未定
対 戦	日本代表 対 国内トップリーグ選手による選抜チーム
主 催	公益財団法人日本ラグビーフットボール協会
取 組	・会場整備（芝拡張、可動席設置） ・会場周辺の盛り上げ、来場者へのおもてなしの実施

## 生涯スポーツの振興

(スポーツ局スポーツ振興課)

## 1 要 旨

県民の誰もが、それぞれのライフステージに応じて、日常的にスポーツに親しむ機会が充実できるよう、県スポーツ協会、県レクリエーション協会、地域スポーツクラブ、市町など関係者と連携して、生涯スポーツの普及・振興を図る。

## 2 事業概要

(単位：千円)

区 分	令 和 3 年 度 事 業 内 容	R 2 予算額	R 3 予算額
スポーツを支える 環 境 づ くり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県民スポーツレクリエーション祭 <ul style="list-style-type: none"> <li>・種目別大会 (35種目開催予定)</li> <li>・ニュースポーツふれあいフェスタ (5回開催予定)</li> </ul> </li> <li>○しずおかスポーツフェスティバル <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内3地域 (東部・中部・西部) で146種目を開催予定</li> </ul> </li> <li>○レクリエーション指導者等派遣事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども園や企業等にレクリエーション指導者を派遣 (9回実施予定)</li> <li>・ショッピングセンター等での親子運動遊びのイベントを実施 (3回実施予定)</li> </ul> </li> <li>○少年スポーツ事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団交流大会の実施 (10月～2月)</li> </ul> </li> <li>○総合型地域スポーツクラブの活動支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブへの訪問指導</li> <li>・研修会、交流会の開催 ほか</li> </ul> </li> </ul>	14,000	16,200
こどもや女性の ス ポ ー ツ 参 画 促 進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ドリカムスタート (START) 事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、生徒等を対象に、本県ゆかりのアスリート等によるスポーツ教室の開催</li> </ul> </li> <li>○託児付きスポーツ教室開催支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・託児サービス付きスポーツ教室の開催を支援 補助率等：1年目1/2 (300千円上限) 2年目1/3 (200千円上限)</li> </ul> </li> <li>○マインドスポーツイベント開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・囲碁、将棋、健康マージャンなどの複数種目で、初心者向け講座や体験等を行うイベントを実施</li> </ul> </li> <li>○ふじのくにスポーツ推進月間 (10月) の啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ実施率向上に向けたイベントを実施</li> </ul> </li> <li>○静岡県パラスポーツ運動会の開催 (※別途予算計上) <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラスポーツ体験を通じ、パラスポーツの魅力を広く企業・県民に周知</li> </ul> </li> </ul>	8,400	5,650
生涯スポーツの 企 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○静岡県スポーツ推進審議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進に関する諸問題の調査・審議 (3回開催予定)</li> </ul> </li> <li>○ふじのくに地域スポーツ推進会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県、市町、スポーツ関係団体等の連携を図るため、情報交換等を実施 (1回開催予定)</li> </ul> </li> <li>○サイクルスポーツの習慣化に向けた検証 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車利用による健康増進のエビデンス取得の取組 ほか</li> </ul> </li> </ul>	3,000	11,850
市町、関係団体連絡調整		4,400	4,000
合 計		29,800	37,700

## (参考) 女性のスポーツ参画促進 (令和2年度実績)

## ○託児サービス付きスポーツ教室補助制度の創設

(R元実績 1件 島田市) ※R2 コロナの影響により中止



## ○カラダ・ココロ・スッキリオンラインヨガ

女性に人気の高いヨガ及びストレッチをリモートにより実施

- ・水曜日コース(10/21、28、11/4)
- ・金曜日コース(11/13、20、27)
- ・定員 各コース15名
- ・申込数 水曜日55人 金曜日48人

## ○ 県民スポーツレクリエーション祭

(フェスタ、種目別大会)

フェスタ参加者 126名

(島田会場10/11:56名、三島会場11/23:70名)

種目別大会(7月～11月)

バウンドテニス等15種目実施

(中止17種目)



リモートによるヨガ教室

フェスタ島田会場  
「ミニトランポウウォーク」



(参考) 女性のスポーツ参画促進 (令和2年度実績)

○託児サービス付きスポーツ教室補助制度の創設

(R元実績 1件 島田市) ※R2 コロナの影響により中止



○カラダ・ココロ・スッキリオンラインヨガ

女性人気の高いヨガ及びストレッチをリモートにより実施

- ・水曜日コース (10/21、28、11/4)
- ・金曜日コース (11/13、20、27)
- ・定員 各コース15名
- ・申込数 水曜日55人 金曜日48人

○ 県民スポーツレクリエーション祭

(フェスタ、種目別大会)

フェスタ参加者 126名

(島田会場10/11:56名、三島会場11/23:70名)

種目別大会(7月～11月)

バウンドテニス等15種目実施

(中止17種目)



リモートによるヨガ教室



フェスタ島田会場  
「ミニトランポウウォーク」

## 障害者スポーツの振興

(スポーツ局スポーツ振興課)

### 1 概要

東京パラリンピック大会に向け、障害者スポーツを応援する県民意識の更なる醸成と障害者スポーツの裾野拡大を進めることにより、共生社会の実現を図る。

### 2 事業の内容

(単位:千円)

区分	事業名	概要	R2当初	R3当初
参加機会の拡大＋県民意識醸成	障害者スポーツ振興事業費	○障害者スポーツ応援隊による活動 ○県障害者スポーツ大会の開催 ○全国大会への選手団派遣 ○パラアスリート発掘 ○初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 ○巡回指導、みんなでスポーツ教室 ○ブレードランニングクリニック ○静岡県パラスポーツ運動会の開催(※別途予算計上)	61,849	56,333
	パラサイクリング推進事業費	○パラサイクリング活動団体発足 (R3は事務局員の人件費のみ計上) ○練習会、体験会の開催 ○パラサイクリング県大会の開催 ○パラサイクリングサポーター養成 ○タンデム自転車整備 (R2のみ)	12,300	8,030
計			74,149	64,363

#### ～令和2年度 わかふじスポーツ大会～

期 間：令和2年9月19日(土)～11月8日(日)

実施競技：4競技 フライングディスク、ボウリング、  
グラウンドソフトボール、フットベースボール

参加者数：選手454人、役員・ボランティア190人



フライングディスク



フットベースボール

#### ～令和2年度 静岡県ブレードランニングクリニック～ 「競技用義足の付け替えや走り方の講習会」

日 時：令和2年9月22日

場 所：県草薙総合運動場このはなアリーナ

講師等：為末 大 (400mハードル日本記録保持者)  
山本 篤 (北京、リオパラメダリスト 掛川市出身)  
佐藤 圭太 (リオパラメダリスト 藤枝市出身) 他



ブレードランニングクリニック

# 競技力向上対策事業

資料2-6

(スポーツ局スポーツ振興課)

## 1 要 旨

国民体育大会などの国内主要競技会において優秀な成績を収めることを目的に、県内選手の競技力向上を図り、「スポーツ王国しずおか」を実現する。

## 2 事業概要

(単位：千円)

事業名		事業概要	R2予算額	R3予算額
選手強化	国体強化事業 合宿・遠征等	国体に向けた強化合宿と県外遠征による選手強化 競技用具整備支援 R元実績：41競技団体、実施回数：合宿126回、 遠征228回、日帰り練習439回	110,000	95,000
	リモート指導等	ICTを活用したリモート指導や戦術分析等、強化 活動を再開するための取組支援		
	トップアスリート強化事業	県民に夢と希望を与えるトップ選手の強化支援 R2実績 競技数：10競技、対象選手：28人	3,000	3,000
小 計			113,000	98,000
ジュニア強化	ジュニア育成・強化事業	競技力の基盤となるジュニア選手の育成・強化 R元実績 対象：39競技団体 実施：延べ1,096回	57,000	60,000 (統合)
	ジュニア海外強化事業	国際試合等を経験することによるジュニア選手の強化 R2実績 実施競技団体：実施なし	3,000	
	トップアスリート等派遣事業	トップアスリート等を派遣し中学校培活動等を活性化 R元実績 クリニック27回実施(239校・1,624人参加)	生涯スポーツ 振興事業へ移管	
	ジュニアアスリート発掘・育成事業	能力の高いジュニアを発掘しアスリートへ育成 R2：ジュニア養成事業を県スポ協が自主事業で実施	8,700	8,000
小 計			68,700	68,000
指導体制強化	世界クラスの指導者確保・養成事業	外部指導者の招聘による指導体制の強化	12,000	12,000
	上級指導者確保・養成事業	上・中レベル指導者の育成と資質向上 R元実績 参加資格取得35人、実地研修会777人	6,000	5,000
	“アスリートの卵” 育成者資質向上事業 ジュニアアスリート指導者資質向上事業	導入期のスポーツ指導者の育成と資質向上 ジュニアアスリート指導者の育成と資質向上	4,000	3,000
小 計			22,000	20,000
アスリート等雇用支援事業		アスリート等と県内企業等とのマッチングと雇用した 企業等への支援 R元実績 6社、6名(ボクシング、弓道バレー、陸上、ボート) R2：13社13名11競技(元年度からの継続雇用5名含む)	48,000	42,300
国民体育大会等派遣事業		国民体育大会等へ派遣する県選手団の経費 R2：本大会(鹿児島県)延期 冬季大会2競技32人 (愛知県・秋田県スキー競技中止) R3：三重県で本県実施	86,300	59,000
競技力向上対策費計			338,000	287,000
静岡県ゴールデンサッカーアカデミー開催事業		GSA：海外コーチの実技指導による指導者・選手の 資質向上 (R2開催：静岡県4チーム) サッカーU-16ドリームカップ：国際交流事業(R2中止)	20,000	15,000
JFAアカデミー福島レガシー		アカデミー帰還後のレガシー検討	0	1,000
合 計			358,000	303,300

## 3 国体総合成績の推移

年	H24 (岐阜県)	H25 (東京都)	H26 (長崎県)	H27 (和歌山県)	H28 (岩手県)	H29 (愛媛県)	H30 (福井県)	R1 (茨城県)	R2 (鹿児島県)	目標
天皇杯	14位	20位	26位	20位	16位	17位	19位	17位	延期	8位
皇后杯	13位	21位	21位	14位	20位	18位	13位	19位		—



## ICT活用方法の想定

(スポーツ局 スポーツ振興課)

区分	活用方法	必要機器、経費等
リモートによる実技指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>Zoom などを利用し、リモートによる実技指導、ミーティングなどを実施</li> <li>指導者からトレーニング方法の映像を送信</li> <li>選手は自身のスマホでトレーニング映像を撮影し、指導者へ送信。指導者は選手へアドバイスを送る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット</li> <li>Wi-Fi ルータ</li> </ul>
ICTを活用した戦術分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>試合や練習の様子を撮影したものをパソコンに落とし込み、分析ソフトでタグ付け（プレー別に分類）</li> <li>動画内の選手同士を線で結んでフォーメーションを目視できるようにする</li> <li>指導者、選手で改善点等を共有することで、ミーティングなどの密の時間を作らず、戦術の共通理解を得る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートPC</li> <li>タブレット</li> <li>戦術分析ソフト</li> </ul>
アナリストによるデータ分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会、強化合宿等にアナリストを帯同し、収集した情報を分析することで、効率的な強化活動を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アナリストへの謝金</li> </ul>

## &lt;利用例&gt;

## ○情報通信機器、分析ソフト

想定種目	サッカー、バレー、バスケ、ラグビー、ハンドボール（主に団体競技）	水泳、陸上、体操、アーチェリー等（主に個人競技）
想定事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートPC 1台 200千円</li> <li>タブレット端末 4台 250千円</li> <li>Wi-Fi ルータ 4台 250千円</li> <li>分析ソフト利用料 一式 200千円</li> </ul> 計 900 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末 4台 250千円</li> <li>Wi-Fi ルータ 4台 250千円</li> </ul> 計 500 千円
補助上限	900 千円	
補助率	10/10	
補助金額	13,000 千円 (900 千円×5 団体+500 千円×17 団体)	

- 各競技の成年男女/少年男女のコーチ4人にタブレット端末・Wi-Fi ルータを配備
- 団体競技では、戦術分析ソフトを利用。動画保存/編集用のパソコンを購入

## ○アナリスト招聘

想定種目	サッカー、バレー、バスケ、ラグビー
想定事例	国体6日+強化合宿10日=16日 5,250円×6時間×16日=504,000円
補助上限	500 千円
補助率	10/10
補助金額	2,000 千円 (500 千円×4 団体)

※団体数は、アンケート調査、指導検査ヒアリングを基に、競技団体の実情、活用実現性等から想定

## ふじのくに健康長寿プロジェクト関連事業

(健康局健康増進課)

## 1 概要

①健康長寿プログラムの普及、②健康マイレージ事業、③企業との連携、④健康長寿の研究、⑤重症化予防対策の5本柱による「ふじのくに健康長寿プロジェクト」を推進している。

平成29年度から令和元年度までは、健康経営に着目し「しずおか“まるごと”健康経営プロジェクト」を実施した。また、令和2年度からは、民間との協働による「働く人等の運動習慣の改善及び食生活の改善」に取り組んでいる。

## 2 事業内容

(単位:千円)

項目	内 容	R3 当初
健康長寿プログラムの普及	<p>①ふじ33プログラム※1の普及 運動習慣や食生活の改善に加え、積極的な社会参加をメニューに取り入れた本県独自の健康長寿プログラムの普及 ・県内市町・企業等への実施支援及び各種啓発 ・シニア版の普及啓発</p> <p>②減塩55プログラム※2の普及 本県に多い脳血管疾患の予防に向けた減塩プログラム ・市町・企業等での自己チェック票活用推進 ・企業への「お塩のとりかたチェック票」の普及</p>	1,851
健康マイレージ事業	<p>健康づくりメニューの実践で一定のポイントを貯めた住民が、指定された協力店で各種特典を受ける健康マイレージ制度を実施する市町を支援 令和元年度から全35市町で実施(市町独自事業2市を含む)</p>	
企業との連携	<p>①健康づくり優良企業の表彰 健康づくりに積極的に取り組んでいる企業に対する知事褒賞、取組事例紹介のパンフレットの作成</p> <p>②健康づくり推進事業所宣言の展開 企業・事業所が取り組む従業員の健康づくりのための具体的な目標を宣言として募集、認定証を発行</p> <p>③健康づくりアドバイザー派遣</p>	700
健康長寿の研究	<p>特定健診データを分析し、結果を市町別、医療保険者別、市町地区別にマップ化。市町別地域別保健活動等に活用 ・令和2年度は平成30年度分(約71万人)のデータを収集、分析</p>	1,695
重症化予防対策	<p>①重症化予防体制整備 ・専門家等による糖尿病等重症化予防対策検討会の開催 ・医療関係者、市町、県による連絡調整会議の開催</p> <p>②重症化予防指導者養成研修 人工透析予備群に対する介入に係る研修会の実施</p>	3,000
合計		7,246

## ※1 ふじ33プログラム

㊤普段の生活で、㊤実行可能な、㊤運動・食生活・社会参加の3つの分野の行動メニューを、㊤3人一組で、まずは3か月実践することで、望ましい生活習慣の獲得を目指すこと

## ※2 減塩55プログラム

平成27年度より5年で5%の減塩を目指すよう、チェック票に沿った食生活をする事

## 部活動改革推進事業

(健康体育課)

## 1 事業目的

生徒にとって望ましい持続可能な部活動と教員の負担軽減の両立を実現するため、国事業による実践研究を行う市町を支援する。

令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、地域人材の確保や費用負担の在り方、運営団体の確保などの課題に総合的に取り組み、休日の地域部活動の仕組みを構築する。

## 2 事業概要

区 分	内 容	対 象	備 考
地域部活動推進事業(休日の部活動の段階的な地域移行)	県内の拠点校(市)において実践研究を実施し、研究成果を普及することで、休日の地域部活動の全国展開につなげる。	運動部	スポーツ庁委託 健康体育課執行
		文化部	文化庁委託 義務教育課執行

## 3 令和3年度事業計画(当初予算2,626千円(新規))

## (1) 運動部(1,675千円)

実施市町	時 期	内 容
掛川市 (水泳部)	4月～5月	・部活動地域移行検討委員会 ※年3回予定 ・地域部活動説明会
	6月～9月	・各中学校及び東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」における体験会
	10月～1月	・土曜練習会、火曜練習会 ※計24回予定

## (2) 文化部(951千円)

実施市町	時 期	内 容
掛川市 (吹奏楽部)	4月～5月	・部活動地域移行検討委員会 ※年3回予定 ・体験入部(全3回)
	6月～3月	・土曜練習会(全42回)
	8月～12月	・合唱祭、コンサート等開催(全3回)
	3月	・成果発表会